

養老町における地域計画の取り組みと 農地バンク経由の農地賃貸借等の手続き



令和6年11月14日

養老町

目次

1	養老町の概要	1
2	養老町の農業（概要）	2
3	地域計画の策定	
	①策定にいたる背景	3
	②策定方針	4
	③アンケートの実施	5
	④役割分担	6
	⑤策定による成果	7
	⑦地域計画の更新	8
	⑧策定できた要因	9
4	事例紹介	
	笠郷地区	10
5	養老町全体の集積状況	11
6	農用地利用集積等促進計画について	12
7	今後の課題と対応について	13
参考	各地区の地域計画目標地図と現状の集積状況について	
	所有者不明・共有者不明農地への対応について	

1 養老町の概要

岐阜県の南西に位置し、西に養老山麓、東に海拔0メートルの低湿地な平坦地が広がる、豊かな緑と清らかな水に恵まれた自然あふれる町。気候は太平洋側気候で比較的温暖。交通アクセスも充実。

人 口	約26,000人
土地面積	7,229ha
年平均気温	約15℃
年降水量	約1,800mm

養老町の見どころ

養老の滝



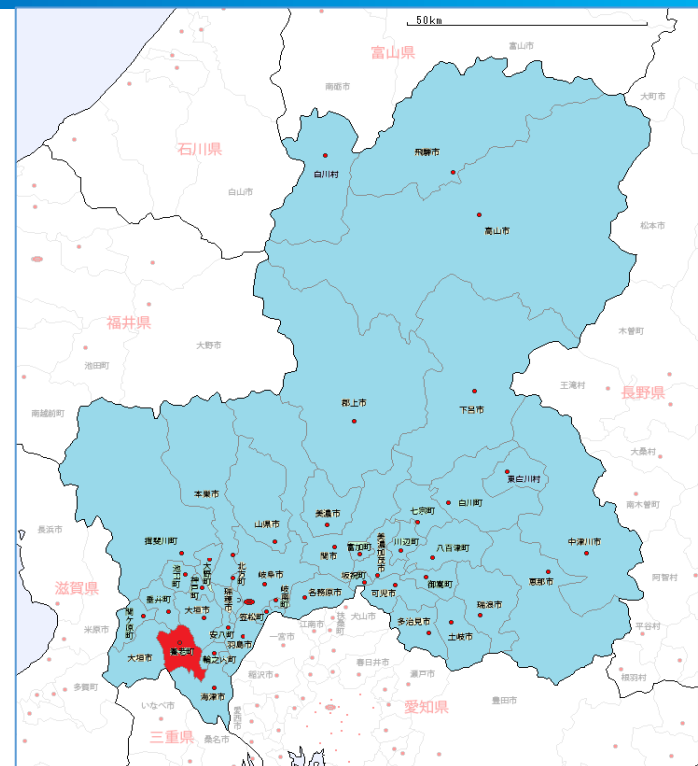
養老天命反転地



岐阜県こどもの国



東海環状自動車道養老IC



2 養老町の農業（概要）

◆水田面積 約2,400ha（耕地の約92%）

- ・農地の大半は平場で高生産性農業の潜在力が高い地域。

◆主要作物の作付状況（R5年）

主食用米	963ha	飼料用米	763ha	加工用米	111ha
小麦	219ha	大豆	170ha	キャベツ	20ha

排水条件の悪さから稲作中心で高収益作物の生産が伸び悩む。

◆担い手（経営体）、農地の集積・集約の状況

- ・認定農業者 59（うち法人32）
- ・担い手への集積面積・率 2,040ha・79.3%（県平均40.1%）
- ・農地中間管理事業転貸面積 1,361ha 機構集積率56%

◆近年の特徴的事項

①集積率の拡大

「人・農地プラン」の
策定が大きく寄与

H26 : 57% → R5 : 79.3%（県全体 H26 : 30% → R5 : 40.1%）

②加工用キャベツの生産を推進

- ・加工野菜処理工場の建設により栽培を推進

③飼料用米面積拡大（県全体の約1/5）

- ・養鶏飼料用の粳での出荷に取り組む



3 地域計画の策定 ①策定の背景

★平成24年にスタートした「人・農地プラン」を契機に目標地図も併せて作成

<当時の状況>

農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加

⇒5年後、10年後に農業や農地の展望が描けない地域が増加

★現状のままでは地域の農地を維持できないのではという不安感

農業関係者の皆さんに地域農業の将来を真剣に話し合い、考えてもらいたい。

<人と農地の問題>

- ・どのような経営体を中心となって地域の農業を引っ張って行くのか
- ・どうやって中心となる経営体に農地を集めていくのか

「人・農地プラン」の策定(H23年度より実施)

(方針決定 ⇒ 意向調査(アンケート) ⇒ 協議の場の設置(話し合い・合意形成)
⇒ プラン・地図の作成・公表)

3 地域計画の策定 ②策定方針

- ① 生産調整の推進地区もしくは小学校区単位で人・農地プランを策定
- ② 担い手の有無によりプラン策定活動を実践
- ③ アンケート集計後、行政がプラン素案策定
- ④ 「地域が認めた担い手」を、10年後も農業ができる担い手に絞り込む
- ⑤ 担い手が位置づけられた集落から地図上にゾーニング実施
- ⑥ 担い手の存在集落から優先して集落座談会、町検討会を開催しプラン完成
- ⑦ 担い手の不在集落は、集落座談会で意見聴取しプラン策定

3 地域計画の策定 ③アンケートの実施

○対 象 農家 2, 1 2 3 人（土地持ち非農家含む） ○回答者 1, 5 6 4 人 回答率 7 3. 7 %

主 な 質 問	回	答	
○あなたの集落・地域は何もしないと 1 0 年後どうなりますか	・ 何も問題ない ・ 耕作放棄地が増加 ・ 地域の担い手がいなくなる ・ 農業者の高齢化が進む	13. 1 % 30. 6 % 23. 3 % 67. 7 %	多くの農家が集落・地域の農業の将来を心配している
○今後、あなたの農業経営はどうしたいですか	・ 農業を継続 ・ いますぐやめたい ・ 5 年以内にやめたい ・ 1 0 年後にやめたい ・ 規模拡大	27. 4 % 20. 1 % 23. 4 % 10. 5 % 1. 2 %	1 0 年以内にやめたい農家が過半である
○あなたの集落・地域に担い手はいますか	・ 個別経営体がいる ・ 法人経営体がいる ・ 集落営農組織がある ・ いない	29. 0 % 24. 7 % 27. 8 % 22. 8 %	集落・地域には担い手が概ね存在する
○農業経営を引き継ぐ後継者はいますか	・ いる（現在、農業をしている） ・ いる（現在は農業をしていない） ・ いない	14. 7 % 26. 3 % 50. 4 %	後継者がいない農家は半分
○農業をやめるとき農地をどうしますか （将来やめると回答した人への質問）	・ 地域の担い手等に預ける ・ 農地を売りたい ・ 畑だけやりたい	63. 1 % 7. 6 % 25. 3 %	営農をやめる場合には農地を預けたい人が過半